

審議会等の会議の記録

会議の名称	第3回伊勢崎市スポーツ推進審議会
開催日時	平成31年2月4日(月)午後3時00分～午後4時40分
開催場所	伊勢崎市役所本館5階職員研修室
出席者氏名	(委員) 小野里会長、反町副会長、細貝委員、大谷委員、今委員、狩野委員、長岡委員、齊藤委員、下山委員、清水委員、平林委員 (事務局) 町田健康推進部長、勅使川原健康推進部副部長、橋詰スポーツ振興課長、笹間スポーツ振興係長、関口施設管理係長、金井係長代理、岡野谷主任、細野主任、コンサルタント ジャパン総研(木村、竹澤)
傍聴人数	2人(公開)
会議の議題	伊勢崎市スポーツ推進計画(中間案)について
会議資料の内容	(1)会議次第 (2)伊勢崎市スポーツ推進計画 A3概要 (3)伊勢崎市スポーツ推進計画 計画中間案 (4)意見シート (5)「個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)」
会議における議事の経過及び発言の要旨	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1)伊勢崎市スポーツ推進計画(中間案)について 伊勢崎市スポーツ推進計画(中間案)についてジャパン総研木村より説明。各委員から次のとおり意見が出され、今後の検討課題とされた。 (意見の概要) ア 第1章 計画の基本的な考え方 ・特になし。 イ 第2章 スポーツ推進の方向性 ・スポーツ推進計画という名称について、計画を市民が目にしやすいうように計画名を変更することは可能かという意見に対して、市ではいろいろな計画があるため、「スポー

ツ」という言葉をいれ、わかりやすいものにしたほうが良いと考えるため、現状のままで検討したい。

- ・スポーツ推進の理念「1市民1スポーツ」について、これはあるべき姿であり、これが達成された先に10年後、市がどのような状態になっていることが理想であるかが理念になるのではないかと。
- ・市長がイベントで必ず言っている「1市民1スポーツ」が入っていること、スポーツを楽しむというやわらかい表現がよい。
- ・成果指標について、入っている数字の内訳について質疑があった。
- ・指標④「スポーツボランティアの参加者数」が、スポーツ推進の理念の「支えるスポーツ」にあたるように、各指標に理念の「する」・「見る」・「支える」のどれが当てはまるのか明記することで、つながりがわかりやすくなりよいのではないかと。

ウ 第3章 基本施策

- ・P69の表の中で、20～29歳に特にスポーツイベントの情報ニーズがある。広報を通しての情報周知は効果的だが、身近なところでスポーツ情報を発信していくことが必要である。また、スポーツでの市民の活躍情報の興味が低く、市内出身の選手が周知されていないことは課題である。
- ・施策2について、中学生が部活を選択する際に親の送迎が懸念材料になっている。壮年期については、受け皿はあっても多忙感等により参加することが難しいため、時間を確保できるようにする環境づくりも大切である。企業への働きかけについて、具体案を明記するべきではないかという意見に対して、計画を毎年見直していく中で今後必要性が生じれば検討していくこととした。
- ・施策3について、高齢者の中には運転ができないためにスポーツに参加ができない方が多くいる現状がある。
- ・施策4について、核になる施策があるとよい。「障害者がスポーツを楽しむ」ではなく「障害者と一緒にスポーツを楽しむ」というほうがよい。合理的配慮を地域で認識することが一番の近道である。
- ・施策5について、特になし。
- ・施策6について、ボランティアは高齢者の辞退が進んでいる現状がある。ボランティアの募集や育成の仕組みを作っていけると関心が高まりよいと考える。
- ・施策7について、特になし。

	<p>4 その他 スポーツ施設個別施設計画について事務局より説明。 次回開催日程について事務局より説明。</p> <p>5 閉会</p>
--	--